

南アルプス尾白川黄蓮谷右俣報告

(日時) 2016年8月31日～9月3日

(メンバー) 単独

(行程)

8月31日 新潟発夜行高速バス

9月1日 新宿発(7:00)ー荳崎(8:37～8:45)ー竹宇駒ヶ岳神社
(9:38～9:43)ー不動滝吊り橋ー日向山林道終点入渓点(13:30)ー黄蓮谷
出合ー五丈沢上ビバーク地(15:30)

9月2日 五丈沢上ビバーク地(6:00)ー左俣出合(6:50)ー千丈の滝
下(7:40)ー千丈の滝上(8:45)ー奥の三段の滝下(9:35)ー甲斐駒ヶ岳山頂
(11:35～12:00)ー北沢峠(15:30)

9月3日 北沢峠(7:25)ー広河原(7:50～8:00)ー甲府(9:55～
12:29)ー新宿(14:05)ー新潟(18:16)

台風も過ぎ去ったので、思い立って、尾白川黄蓮谷から甲斐駒ヶ岳へ。

9月1日

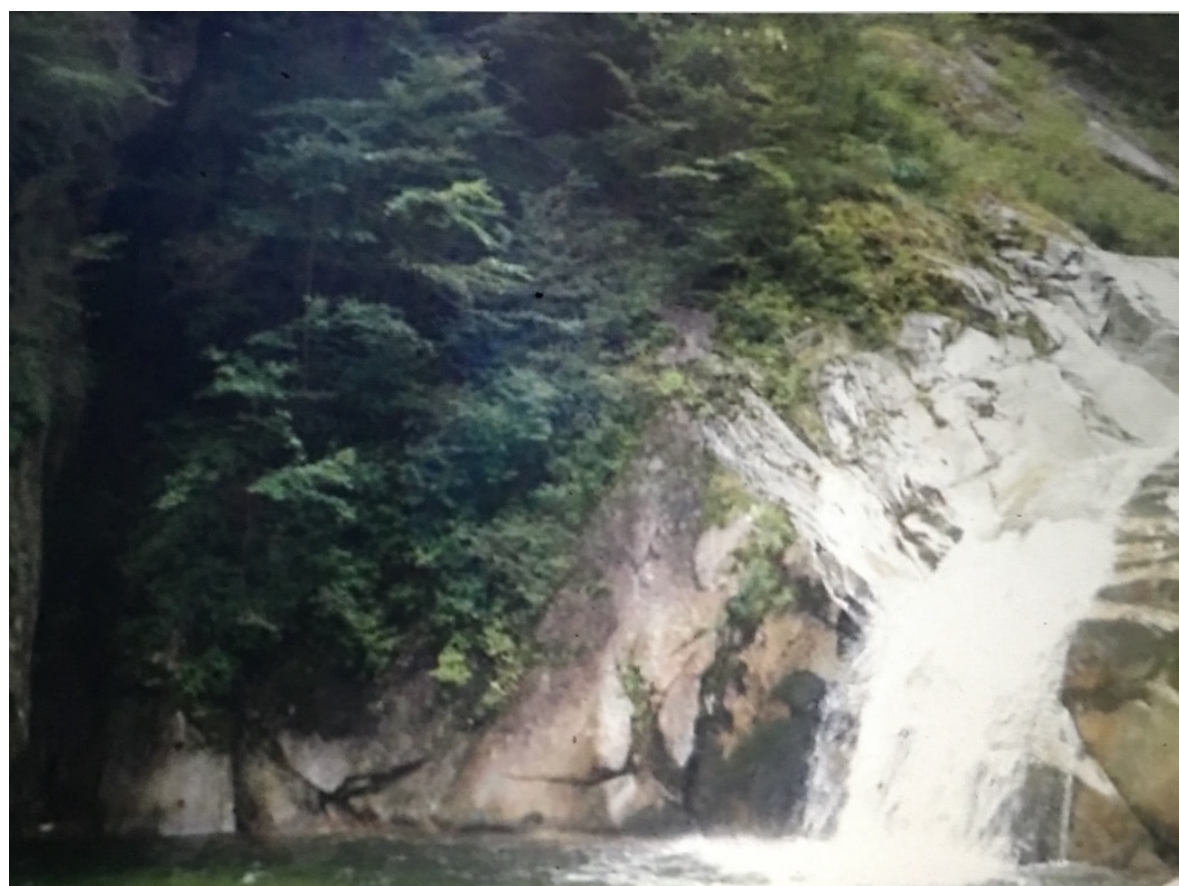
晴れのち曇り

林道から、入渓点へ。入渓点から、降り立った所は、普通の河原。遡行
を初めて間もなく、鞍掛沢を左岸に見てその先にワイヤーの滝が見え
る。次々に現れる釜のある滝は、踏み跡をたよりに巻いていく。すぐ先
に噴水の滝。左岸の高い所に獅子岩。しばらく行くと二俣となり黄蓮谷
が出合う。黄蓮谷に入り最初の滝は、左岸を高巻く。千丈の滝は、地形
図にもある滝。右岸の巻き道から滝上に降りる。次の滝(13mくらい
か…)は五丈沢を見ながら、左岸を高巻くと途中の平坦地がある。ここ
が今日のビバーク地。



入溪点から降りた河原









千丈の滝



ビバーク地の平坦地

9月2日

曇り

6時出発。ビバーク地から沢に戻ると、すぐに坊主の滝。右のガレ沢を登り高巻く。

沢に戻ると、傾斜がきつくなり、連瀑帯となる。左俣の出会いを過ぎ連瀑帯に入り、

奥千丈の滝。奥千丈の滝は、右岸を登る。相変わらずの連瀑帯で、藪漕ぎを交えて進む。2400m付近を過ぎ、右よりにたどる。奥の三段の滝は、一段目は、左岸から高巻く。2段目は、左から登る。3段目は、ロープを出して、左から登る。ハイマツの中を進み、途中から沢すじに降りる。少しの登りで尾根に出て、4分ほどで、甲斐駒ヶ岳頂上に。頂上で、20分ほど休憩し、北沢峠に下りる。



坊主の滝



奥千丈の滝

9月3日

曇り

今日は、一番のバスで、広河原経由で、帰途につく。

